

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 12 月 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|------------------------------------|-----------|--|
| 事業所番号 | 3490500182 | | |
| 法人名 | 医療法人社団和恒会 | | |
| 事業所名 | 認知症対応型共同生活介護 グループホーム ふたばホーム | | |
| 所在地 | 呉市広白石4丁目1番11号 (電話) 0823-76-3315 | | |
| 自己評価作成日 | 平成25年11月18日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=3490500182-00&PrefCd=34&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 平成25年12月3日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

平成20年のオープンからちょうど5年になり、利用者の皆さんには広いスペースで、和やかにゆっくり過ごしてもらっています。季節の食材を取り入れ、温かくて、おいしい食事作りに力を入れています。料理、洗濯、掃除等の作業を利用者の皆さんと一緒にしています。出来ることは参加してもらうことを原則としています。管理者と職員は、何でも相談できる雰囲気の中、助け合って介護に取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

全職員は女性で、家庭で主婦もしており、調理に関しては事前にその日の日勤者が食材をまとめ買いし、利用者の希望を聞きながら食事を作っている。対面キッチンとなっており、食材の匂い、まな板から聞こえてくる音など、五感を働かせて、温かく家庭で作られている食事が提供できている。
利用者の出来ることはしてもらい、家庭と同じように家事（洗濯干し、たたみ、掃除など）を行い、利用者に対する感謝する気持ちを忘れないように日々関わっている。
職員同士が悩みや相談を何でも話しやすい雰囲気を作っており、また管理者は職員の希望休暇なども極力叶えられるようにし、休みと勤務日のメリハリをつけ、利用者に対して職員が心の余裕をもって接するように努め、働きやすい環境を作り出している。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 法人の理念とは別に職員で話し合って事業所独自の理念を作り、取り組んでいる。 | 事業所独自の理念「家庭的な雰囲気のもと、利用者さんがゆったり過ごせるグループホームを目指します」を掲げ、利用者個々の要望に応じて柔軟に対応している。具体的には、自室で食事が取れたり、3時にテレビの前でお茶を飲むなど、家庭的な雰囲気になるような実践に努めている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 毎月1回の折り紙ボランティア、年2回のオカリナや大正琴等、地域のボランティアを受け入れたり近隣の方への挨拶は欠かさないようにしている。来年は幼稚園との交流も予定。認知症家族会の方とは懇意にさせていただき、講演会の手伝い等もさせてもらっている。 | 職員の知り合い、紹介を通じてボランティアの方が演奏を定期的に行い、利用者の方も次回の演奏のリクエストをするなど楽しみにしている。また、地域の方との交流は外出の際に挨拶をしたり、協力関係を築く努力をしている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 運営推進委員会に於いて認知症についての資料を配ったり勉強会を行っている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 施設の現状や問題点を報告し、一緒に考えて頂き、意見交換、サービスの向上に繋げている。法人内の地域密着型サービス4施設で共同開催しているため、交流にも繋がっている。 | 運営推進会議では、民生委員、地域包括支援センター職員、自治会長、呉市認知症の人と家族の会の代表者がほぼ毎回参加し、活動状況を報告している。また、事業所から毎回対応が難しい事例を紹介し、メンバーの意見をもらい、職員がそれらを実践している。 | |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 運営推進会議への参加依頼、また会議の報告書を市、地域包括センターに行っている。今年1月は、市の担当者の参加もあり、折に触れ電話相談もしている。 | ホーム管理者が市保健福祉課職員へ運営推進会議への出席を依頼した結果、年1回参加されるようになり、意見をもらい、運営へ活かしている。また、運営推進会議の議事録を持参したり、外部評価結果を送付するなど報告を密に行っている。運営基準に合致しているかなどの問い合わせや介護相談員の受け入れなどもしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>徘徊の激しい方がいるため、契約時に家族の同意を得て、玄関の施錠のみしている。</p> | <p>年1回、施設内研修として身体拘束について職員が講師となり研修を行い、理解を深めている。しかし、施設開設当初からの利用者の方で、徘徊が常時あり、帰宅願望も多く、職員の見守りで困難なため、家族の同意を得て玄関には常時施錠をしている。</p> | <p>徘徊が激しい利用者の方も、当初より落ち着いているため、職員が多い日勤帯を中心に、部分的に開錠し、見守りを行っていくなどの対応が望まれます。また、運営推進会議のメンバーから意見をもらい対応策を検討することも望まれます。</p> |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>虐待はあってはならないことで、些細なことでも見逃さないようにしている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>職員全員が完全に理解しているとはいえませんが、成年後見制度については研修も取り入れて勉強している。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>契約時に契約書、重要事項説明書、通常規定を参照しながら説明し、同意、納得して頂けるよう努めている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>利用者の意見を傾聴し、不満等を運営に反映している。面会時には家族の意見も聞き、意見箱も設置している。</p> | <p>1週間に1回は、ほぼすべての家族の方が面会に来られるので、その際に要望などを聞くことや、ケアプランの見直し時に要望を聞き運営へ反映している。具体的には、トイレの場所が分からない入居者の方に対して、扉を開け放ち、照明をつけるなどの対応をしている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>職員全員が揃うミーティングの他、ノートを使った意見交換をしている。管理者、職員間では何でも話せる信頼関係を築いている。</p> | <p>不定期に行うミーティングや、気づいたときに話し合うなど何でも話し合える雰囲気を作っている。同じことを何度も質問をする利用者の方へ職員の対応でうまくいき、落ち着かれることがあれば、それをミーティングで話し合い、統一した対応ができるように支援している。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>定期的に面接を行い、働きやすい環境作りに努めている。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>法人内外の研修、講習会への参加を呼びかけ、実施している。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p> | <p>同じ法人内ではあるが、ふたばの家の管理者、職員と交流し、意見交換をして介護の向上に役立っている。</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p> | <p>体験入居をしてもらい、様子観察し、本人の要望に傾聴し、対応するよう努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p> | <p>相談時、面会時に家族から表出される問題点に対応するよう努めている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>複合施設なので当施設だけでなく、多方面にわたり利用出来るものを相談させてもらい、他を紹介することもある。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p> | <p>利用者に料理の作り方や風習を教えてもらうなど、ゆっくりと同じ時間を共に暮らす関係作り、和める雰囲気作りに努めている。</p> | | |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | <p>細かい点についても家族と相談し、了解を得ながら支援している。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>利用者の希望時に電話をかけたたり、手紙を出したりすることを手伝っている。面会も自由にできる設定にし、多くの方に来て頂いている。ご家族同伴で外出や外泊もされている。</p> | <p>行きつけの美容院に家族の付き添いで行ったり、友人知人の面会もお茶を出すなどの対応をし、再来してもらうような支援をしている。また、施設の電話（子機）で自室でゆっくりと電話ができるような支援も行っている。正月、お盆には外泊をする利用者もいる。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 食堂の席順入浴日等の調整で和やかな雰囲気作りが出来るよう、気配りし、孤立しないよう声かけしながら、利用者同士の親しい関係作りに努めている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 退去された後も入院先の病院を訪ねたり、家族に近況を聞いたりしている。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 心地よい暮らしができるようゆっくり一人ひとりの希望に合わせるよう努めている。利用者と職員との沢山の会話の中で、意向を確認している。 | その日の希望を聞き、柔軟な対応を行っている。食事や入浴などの希望も聞き、なるべく取り入れるように職員が柔軟に対応している。本人が意思表示が難しい場合は、選択肢を示し、自己決定ができるように支援している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 一人ひとりの生活歴を把握するよう努めている。利用者に行き渡りながら聞くようにしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 一日の体調の変化や現状の把握は職員間の申し送り等により把握し、交代後も継続してケア出来るよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>利用者一人ひとりの状態に合った計画を作成するよう職員間で話し合ったり、家族の要望を聞き乍ら、計画を立てている。</p> | <p>介護計画は、管理者が6カ月に1回見直しを行い、本人、家族の要望を取り入れた内容となっている。また、モニタリングは月1回行い、状態の変化があった場合は、プランの見直しを随時行っている。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>介護記録を日勤と夜勤で記入し、職員間で情報を共有しながら、実践、介護計画の見直しをしている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>利用者や家族の要望に対しては出来るだけ柔軟に対応するよう努めている。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>民生委員、自治会長、ボランティア、消防等の協力を得ている。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>協力病院の担当医の月1回の定期受診、毎週1回の看護師の訪問看護の他、特変の折は受診相談等を協力病院と密に行っている。</p> | <p>入居前のかかりつけ医がいる方は、ホームでの様子など職員が手紙を書き、それを家族へ渡し、付添いで受診をしている。それ以外の方は協力医療機関へ職員が付き添い月1回受診している。また、協力病院の看護師が毎週木曜日2時間程度訪問し、健康管理を行っている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p> | <p>訪問看護師とは日常的に連絡を取り合っており、利用者の健康管理を行っている。協力病院の看護師にも相談を受けてもらっている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>病院との情報交換、相談等を行っている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p> | <p>入居時重度化や終末期の対応については、同意書で説明し、状態に応じ話し合いをするよう努めている。地域の関係者との共有はまだない。</p> | <p>入居前に、延命治療を希望するかどうかなど希望を聞いている。また、本人、家族と話し合い、重度化し、医療行為が必要になってくると事業所では対応できないため、協力病院か、近隣の総合病院へ入院していただくことなどを予め説明し合意を得ている。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p> | <p>マニュアルを作成し、利用者の状態に応じて対応できるようにしている。施設内研修も行っている。</p> | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p> | <p>消防署の協力を得て訓練を行っている。法人と地区で協定を結び、当施設は地区の避難所にもなっている。</p> | <p>年2回（1回は夜間想定、消防署立ち会い）避難訓練を行っている。運営推進会議で民生委員や自治会長へ協力を呼び掛けているが確約までには至っていない。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 声かけの内容等プライバシーを損なわないよう、気を付けている。施設内研修にも組み込み、確認し合っている。 | 利用者に失禁があった時も、さりげなく声かけを行い、本人の自尊心を傷つけないような配慮をしている。また、年1回プライバシーに関する施設内研修を行い、一人ひとりにあった声掛けを行うよう人格へ配慮した支援に心掛けている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | コミュニケーションを密に取り、本人が希望を表すことができるよう、そして希望が出来る限り優先されるよう努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 体調やその時々気分等を考慮し、利用者一人ひとりを尊重して支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 本人の希望で美容院に行く方もあるが、訪問美容のサービスの利用が増えている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 一人ひとりの好みを聞き、献立の参考にしている。利用者と職員と一緒に準備して食事し、片付けをしている。 | その日の日勤の職員が入居者の希望も取り入れながら献立を考え、調理をしている。また、下ごしらえや配膳、食器洗いなど一人ひとりの希望や能力に合わせて行っている。誕生会では、食べたいものを聞き、提供できるようにしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p> | <p>献立、食事量をチェックし、水分補給に関しても、頻繁に声かけをしている。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p> | <p>食後の口腔ケアは声かけ、見守りのもとで行っている。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | <p>排泄記録をとり、パターンや習慣を活かして排泄できるようトイレ誘導などしている。</p> | <p>個々の排泄パターンを記録しながら声掛けをし、トイレ誘導を行っている。昼食後出やすいときに声掛けを行い、失禁の回数が減った事例もある。</p> | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p> | <p>排泄管理表に記入し、下剤の調節、飲食物の工夫や体操を行っている。</p> | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <p>一応入浴日は決めているが希望やその日の体調等に合わせ、柔軟に対応している。</p> | <p>基本的に週2～3回と個別に入浴日を決めているが、その日の体調などを本人に聞き、入浴支援を行っている。また、一番風呂がいい方や、温度設定が決まっている方など、個別の要望にも応じている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に合わせ、室内の温度等、環境に配慮し、安眠、休息ができるよう支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 職員は一人ひとりの薬を把握し、確認して服用してもらっている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | 利用者が役割を持ち、ホームの生活を楽しめるよう、支援している。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 頻繁ではないが、利用者の状態に合わせてスーパーに買い物に行ったり、散歩したりしている。施設内の他事業所（デイサービス等）を訪ね、レクに参加する事もある。 | その日の利用者の希望を聞き、テラスに出て外の空気を吸ったり、買い物に行ったりしている。また、家族の方と一緒に毎月墓参りに出かける利用者の方もいる。散歩などは見守りの人数が少ないため、あまり実施できていない。 | その日の要望に応じて散歩や買い物などを行い、見守りが少ない場合には、外出ボランティアなどを利用することも望まれます。また、運営推進会議などで民生委員や自治会長などにも相談し、近隣住民の方にも徐々に協力してもらい付き添いなどができ、協力の輪が広がることを期待します。 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 現金の所持はしていないが、利用者が希望する買い物は家族の了解を得て、購入している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | <p>利用者の希望で電話したり、手紙を出したりすることを支援している。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>共有空間は常に居心地の良い、利用者一人ひとりが寛げる場になっており、日中ずっと共有空間で過ごす方が殆どである。</p> | <p>季節の花を飾ったり、それぞれの時期に応じた壁画を飾ったり、季節感を感じられるような工夫をしている。また、歌が好きな方がいるため、歌詞を張り出して共有空間でゆったりと過ごされている方もいる。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | <p>食卓を囲んだり、ソファで話をしたり、それぞれにゆっくり過ごされているようである。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>寝具、小物等は本人が以前から使われていたものを持ってこられている。殺風景にならないよう本人や家族と相談しながら、飾り物を置いたりしている。</p> | <p>居室の備え付けは、エアコン、カーテンのみでそれ以外のものは、自宅より使い慣れたものを持ち込んでいる。洗面台、鏡もあるため、口腔ケアや化粧など自室で行う利用者の方もいる。季節の花をご家族が持参して飾り、明るい雰囲気醸し出している部屋もある。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>利用者が混乱、失敗がないよう、部屋の表札を大きくしたり、トイレをわかりやすく表示したりしている。</p> | | |

| V アウトカム項目 | | |
|-----------|---|--|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている | ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ふたばホーム

作成日 平成26年1月17日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|--------------|---------------|---------------------------|---|------------|
| 1 | 18 | 外出の機会が少ない | それぞれに合った外出支援を行う。 | 買物同行・散歩・ドライブの他、施設内や他事業所への訪問、テラスでの外気浴等を積極的に取り組む。 | 6ヶ月 |
| 2 | 2 14 | 地域との交流が少ない | 地域とのつながりや施設内・他事業所との交流を図る。 | 地域ボランティアの受け入れ、自治会催しへの参加。他事業所と合同レクを行う。 | 1年 |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。